



Eternal Coin

XEC

ホワイトペーパー Ver.2.1

株式会社アトムソリューションズ

2018年6月13日



目次

概要	3
仮想通貨が決済に使われない理由	3
公認取引所	4
エターナルウォレット	5
eLOOK アプリ	7
エターナルプロジェクト	7
今後追加予定の機能等	8
エターナルコインの発行枚数と内訳について	15
エターナルコイン概要	15
その他の申請中特許について	15
最後に	16



概要

現在、世界中には数多くの仮想通貨があります。そしてこれからも仮想通貨は世界中で数多く毎日誕生するでしょう。

その多くの仮想通貨の中には必ずしも仮想通貨である必要がないものも数多くあります。

私たちは、現金や電子マネーではだめなのか？

電子マネーやクレジットカードよりも利便性があるのか？

という事を考えたときに

私たちが出した結論として、一つの国で利用する場合には現金や電子マネー、クレジットカードよりも仮想通貨が便利になる事はないという答えに辿りつきました。

そこで私たちは現金や電子マネー、クレジットカードの世界では解決できなかったグローバル決済に使われるハブ通貨及び少額の海外送金を行える仮想通貨としてエターナルコインを誕生させました。

仮想通貨が決済に使われない理由

理由 1

例えば飲食店で仮想通貨決済を行う場合には保有している仮想通貨で決済を行う事になりますが、そもそも飲食店で決済するために仮想通貨を購入するユーザーは少数ではないでしょうか。ユーザーが仮想通貨を保有する目的は保有する仮想通貨の値上がりであって、決済ではないからです。

(保有する仮想通貨が値上がりした場合の結果として決済するユーザーはいるでしょう。)

また、決済を受け付けた飲食店においても仮想通貨で決済をされた場合に、現金化するまでの価格下落リスクがある事から、仮想通貨で決済を行ってもらうよりもフィアット通貨での決済を好む飲食店の方が多いのではないのでしょうか。

このような理由から、仮想通貨が現金や電子マネー、クレジットカード以上に決済に使われる事はないのではないのでしょうか。

理由 2

決済に使われないもう一つの理由は、決済に使われるためのインフラを構築する環境が整っていない事やメリットが少ない事です。

仮想通貨での決済が行われるためには、以下の3者のうち誰かが行動を起こす必要があります。



- (1) 仮想通貨発行者
- (2) 取引所
- (3) 決済を行ってほしい店舗や EC サイト

- (1) 仮想通貨発行者

仮想通貨発行者に関しては、非中央集権型仮想通貨においては行動を起こす事は出来ない為に、中央集権型仮想通貨において考えてみると、積極的に活動する事で決済インフラを整える事は可能だと考えます。しかし国境があるために自国以外の国において決済インフラを構築する事は非常に困難である事は間違いありません。

- (2) 取引所

多くの取引所の目的は利用者数と売買高の増加が目的であり、ライバルは他の仮想通貨取引所であるために、特定の仮想通貨のインフラを構築するための活動や行動を起こす事は費用対効果の観点から期待が持てません。

- (3) 決済を行ってほしい店舗や EC サイト

現在、仮想通貨を導入している店舗や EC サイトの殆んどがこのケースだと考えられます。目的は集客である事から、利用者が多い仮想通貨での決済を受け付けようとする店舗や EC サイトは今後も増加すると考えられますが、理由 1 で説明した問題が残る事になります。

公認取引所

アトムソリューションズではエターナルコインを取り扱う「公認取引所」という制度があり、現時点での公認取引所は「日本」「香港」「フィリピン」「韓国」にあります。

公認取引所ではエターナルコイン以外の仮想通貨を取り扱う事が出来ません。

公認取引所制度のメリット

- (1) インフラの構築
- (2) マルチカレンシーウォレット
- (3) セキュリティやマネーロンダリング対策

- (1) インフラの構築

公認取引所ではエターナルコインしか取り扱う事が出来ないで、公認取引所が存在する国において、エターナルコイン（エターナルウォレット）のユーザーを獲得する必要があり、その為には自国でのエターナルコインの利便性を高める必要もありますので、エターナルコインの公認取引所では、エターナルウォレットやエターナルコインのインフラの構築や利用可能店を増加させる活動を行う事になります。



エターナルコインは、この公認取引所制度によって各国での利便性の向上や利用可能店の増加を目指しております。

(2) マルチカレンシーウォレット

他の取引所のウォレットでは、取り扱える仮想通貨の種類が多い事も特徴の一つでしょう。エターナルウォレットでは、売買できる仮想通貨の種類はエターナルコインのみとなりますが、公認取引所制度によって、ウォレット内で利用できるフィアット通貨の種類が多い事が特徴です。

そして、マルチカレンシーウォレットである事が、仮想通貨を利用した海外送金や両替には不可欠だと私たちは考えています。

ウォレット内にあるフィアット通貨は各国の取引所が管理を行っています。JPYであれば日本の取引所。PHPであればフィリピンの取引所が発行者であり管理者となっていますので、マルチカレンシーウォレットによって各国の取引所が、為替リスクが発生することはありません。

(3) セキュリティとマネーロンダリング対策

一般的に仮想通貨を取り扱う取引所では、他の取引所やウォレットに仮想通貨を送信できますがエターナルコインの送信はエターナルウォレット間でしか行うことができません。

各国の公認取引所ではエターナルウォレットの開設時に身分証明書や住所確認を行っているために、エターナルコインがハッキングされたとしても追跡を行うことが容易であり、またウォレットの凍結を行うこともできるために、ハッカーがハッキングを行うメリットが少なくなります。同様にエターナルウォレットを利用したマネーロンダリングも行うことが困難だといえます。

エターナルウォレット

エターナルコインの特徴は仮想通貨だけではありません。エターナルコインを含めたエターナルウォレットこそが私たちの特徴です。

※取引所がある国の法律によっては利用できない機能があります。

エターナルウォレットの特徴

(1) 電話番号送信機能（特許申請中）

一般的に仮想通貨を他のウォレットに送信する場合にはウォレットアドレスへ送信を行う事になりますが、エターナルウォレットでは電話番号で送信を行う事が出来ます。

長いウォレットアドレスを記載しなくてもよいという利便性の向上という事は当然の事ながら、なりすましの防止というセキュリティの観点からも重要な機能です。



(2) DoT (特許取得)

エターナルウォレットを通じてエターナルコインの売買や送信等を行う場合には約5円の手数料がかかります。

この手数料の50%をエターナルコインの保有者に対して毎週1回(日本時間の水曜日12:00)に分配する仕組みがDoTとなります。

手数料の分配率はエターナルコインの持ち分に応じて案分されます。

つまりエターナルウォレットを利用してエターナルコインの売買や送信を行うユーザーがいる限りエターナルコインの価値が0となる事はありません。

(3) ワンタッチ送信 (特許申請中)

一般的に仮想通貨を利用して海外送金を行うためには、送金元と着金先にウォレットを開設して、以下のような手順にて送信を行います。

自国のフィアット通貨

↓

仮想通貨を購入

↓

相手先のウォレットに送信

↓

仮想通貨を売却してフィアット通貨を入手

エターナルウォレットでは、自国のフィアット通貨から送信先のフィアット通貨にエターナルコインを介して交換が出来、さらに送信先ウォレットにもワンタッチで送信を行う事が出来ます。

自国のフィアット通貨

↓

送信先ウォレットアドレスと送金額の指定

↓

相手先フィアット通貨での送信完了

このようにタイムリーにワンタッチで送信を行える事は便利なだけでなく、為替リスクを軽減させる事が出来るというメリットもあります。

(4) 分割機能 (特許取得)

仮想通貨で決済を行う場合に、その仮想通貨の価格が高すぎると決済を行うための金額の計算がわかりにくいという問題があります。



仮に1コイン10万円の仮想通貨にて50円の物を購入しようとしたら、何コインで支払わなくてはならないのかという計算が煩わしく間違いが起こる可能性もあります。

この問題点を解決するためにエターナルコインは価格が上がりすぎた場合に、分割を行えるようになっております。

例えばエターナルコインを10分割した際には、ユーザーが保有するエターナルコインの枚数は10倍になりますが、1コインの価格も10分の1になりますので、ユーザーの保有資産が増えるわけではありません。

※分割を行う際には30日以上前に告知を行います。

※現在分割の予定はありません。

eLOOK アプリ

シェアリングビジネスは新しいビジネスモデルとして世界中に浸透していますが、貸せる家がない人や、副業のための車を持っていない方でも、副業ができるための仕組みとしてのeLOOKアプリをリリースしております。

※詳しくは下記URLよりご確認ください。

<https://www.el-ook.com/s.php>

※本アプリは日本の公認取引所であるエターナルライブが制作・運営しております。

エターナルプロジェクト

エターナルコインやエターナルウォレットをスピーディーに全世界に普及をさせるためには私たちの力だけでは不可能です。

そこで私たちは世界中の人や企業の力を借りて、エターナルコインやエターナルウォレットを普及させるためのエターナルプロジェクトを運営しております。

エターナルプロジェクトとは、個人や企業が得意分野やインフラ等を提案する事によってエターナルコインを報酬として受け取れる仕組みの事です。

提案内容の審査や報酬額（エターナルコインでの報酬）の決定は現在、アトムソリューションズが行っておりますが、今後、エターナルウォレットの利用者による投票により決定していきたいと考えております。

※詳しくはHPをご覧ください。



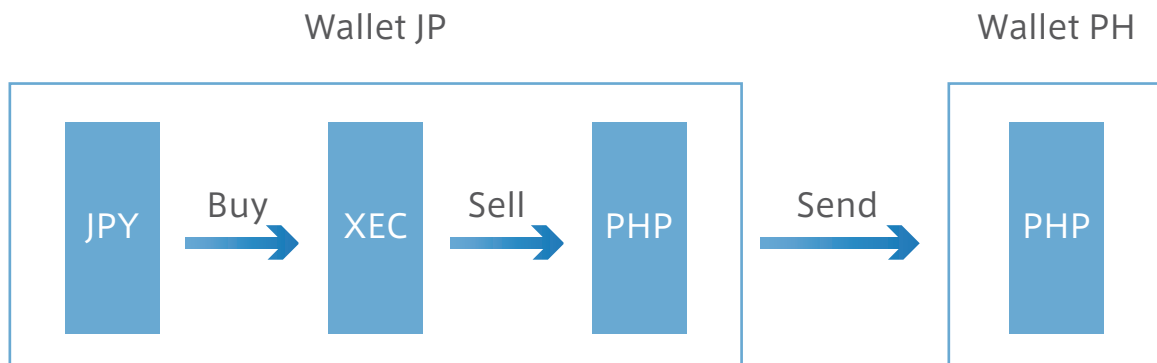
今後追加予定の機能等

両替機能EVOR（特許申請中）

現在、海外送金や外貨両替を世界一安く実現するために、以下の仕組みを構築しております。
(サービス開始は2019年3月です。)

《既存機能の問題点》

現在のエターナルウォレット(以下、ウォレット)には異通貨ワンタッチ送信機能があります。これは、例えば日本からフィリピンへ海外送金を行う際に、予め保有しているウォレット内の JPY にてエターナルコイン（以下、XEC）を成り行き買いし、次に成り行き売りで XEC を PHP にします。その後、フィリピンに住む送金相手のウォレットに PHP を送るといった機能です。



「買う・売る・送る」の三つの手順が一手間で完了する機能となっており、その利便性から XEC をハブ通貨とした海外送金利用者は増え続けています。

しかし、デメリットも存在します。それは、「多額の送金を行う際に着金額が少なくなる」という性質があることです。

成り行き買いと成り行き売りを行うということは、XEC 取引市場の板の厚さに依存しているために、板が薄いと自身の買い注文にて XEC の価格を上昇させることになり、XEC を売却するときにも自身の売り注文にて価格を下げる事になります。

このように、現在の異通貨ワンタッチ送信機能は少額の送金には適していますが、多額の送金には適していません。

《外貨両替機能》

この問題を解決するために、TTM レートでの両替が可能な仕組みを現在構築しております。

TTM レートで両替が可能ということは即ち「世界一安いレート」で両替ができるということになります。

海外送金を行いたい利用者はウォレット内で海外送金を行いたい国の通貨に両替した後、送金先ウォレットに相手国の通貨を送ることによって、世界最安値で海外送金を行うことが可能となります。



《外貨両替手数料》

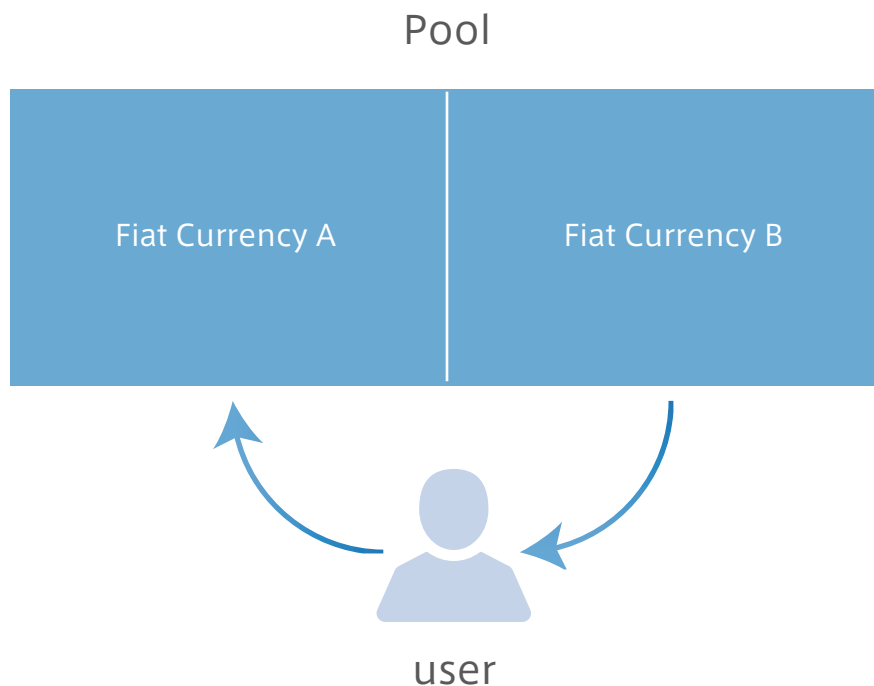
エターナルウォレットを利用した両替には 0.5 % の手数料が発生します。

《プール》

ユーザーがエターナルウォレットを通じて外貨両替を行う場合には両替を行いたい通貨と金額を入力すれば両替を行う事が可能ですが、内部ではユーザーのフィアット通貨にて XEC を購入→売却を行って両替を行っていることとなりますので、フィアット通貨 A からフィアット通貨 B への両替が完了した時の履歴は

- ① フィアット通貨 A にて XEC を購入
- ② XEC を売却してフィアット通貨 B を入手となります。

そして両替を行う場合の取引は取引所の板ではなく、プールという環境にて行われます。プールの中にはフィアット通貨が入っており、ユーザーがフィアット通貨 A からフィアット通貨 B に両替を行うとフィアット通貨 A がプール内に入り、そしてフィアット通貨 B がプールから出ていくこととなります。



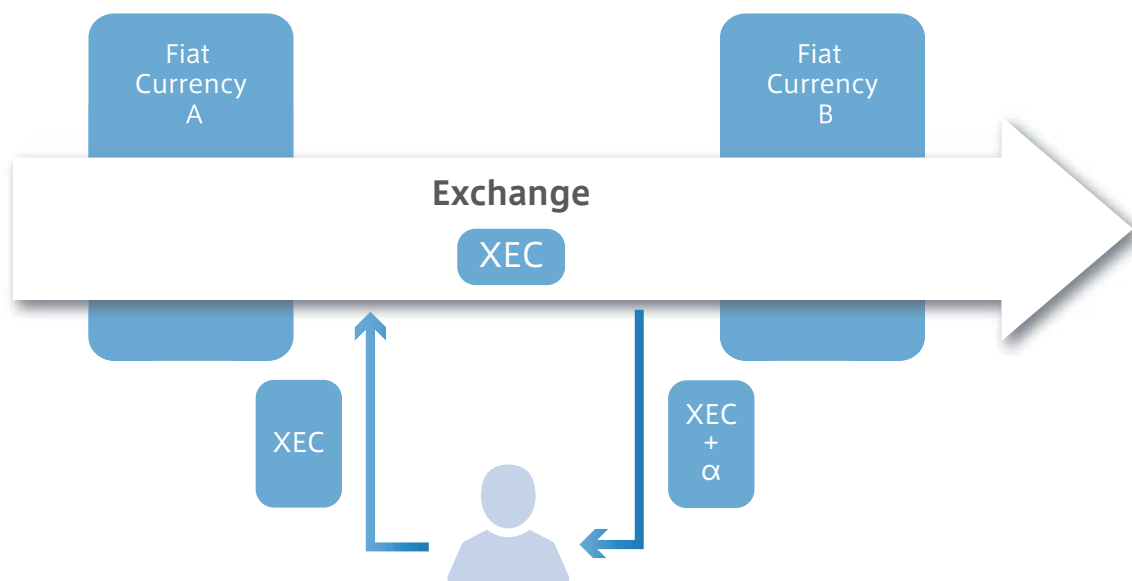
当然ですがフィアット通貨 A からフィアット通貨 B への両替が多いとプール内のフィアット通貨 A が増加しフィアット通貨 B がプール内から減少する事になります。

《XEC の貸し出し》

プールを利用して両替を行うためには、XEC の購入と売却を行う必要がありますが、両替時に購入する XEC は他のユーザーが貸し出した XEC となります。

XEC を貸し出したいユーザーはユーザー自身が保有する XEC をウォレットから貸し出す事ができます。

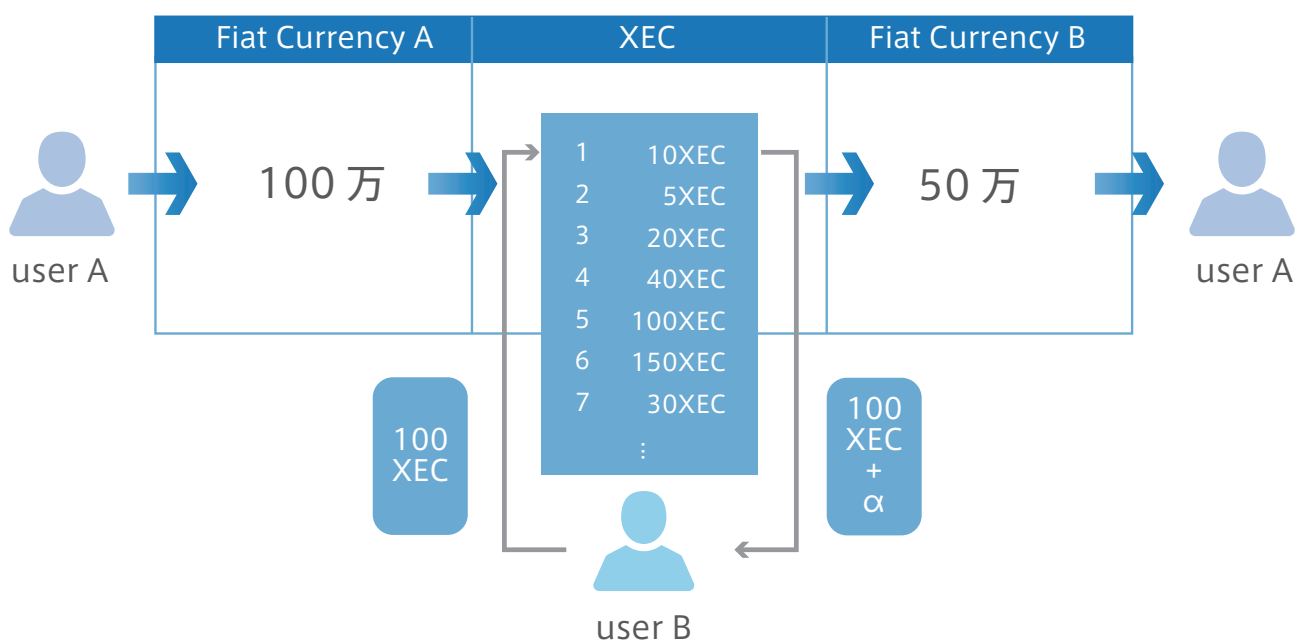
貸し出した XEC には、両替を行ったユーザーの手数料の一部が付与され、両替が完了した後に自身のウォレットに戻ってきます。



※貸し出される XEC は両替を行うフィアット通貨の額と同額の XEC が両替時に貸し出される事になります。

≪ XEC 貸し出しの先着制 ≫

XEC を貸し出すメリットは、両替手数料の一部を手数料として受け取れることにあります。では、XEC を貸し出したら直ちに手数料が入るのかといえばそうではなく、貸し出した順番が早いユーザーから順次消化されるということになります。





《XEC の貸し出し手数料》

エターナルウォレットは各国の公認取引所にて開設を行う必要がありますが、基本的取引所がある国に住んでいる方しか開設する事ができません。

XEC を貸し出したときに受け取れる手数料は、開設した国のウォレットによって違います。

《受取手数料の変動制》

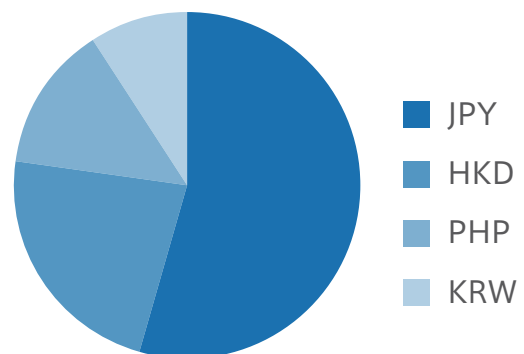
XEC を貸し出した時の手数料はプール内にあるフィアット通貨の残額から自動的に計算されますが、プール内にあるフィアット通貨残額が少ない国の取引所のウォレットの方が、貸し出し手数料が高くなるように自動計算されます。

Exchangeable Amount

JPY	→ PHP	120000000JPY
HKD	→ JPY	3000000HKD
PHP	→ JPY	90000000HKD



Pool Currency Ratio



XEC Lending Service Fee

XEC(JPY)	0.32%
XEC(PHP)	0.76%
XEC(HKD)	0.51%



Loan Yield (24 Hours)

PHP	0.09%
HKD	0.08%
JPY	0.07%

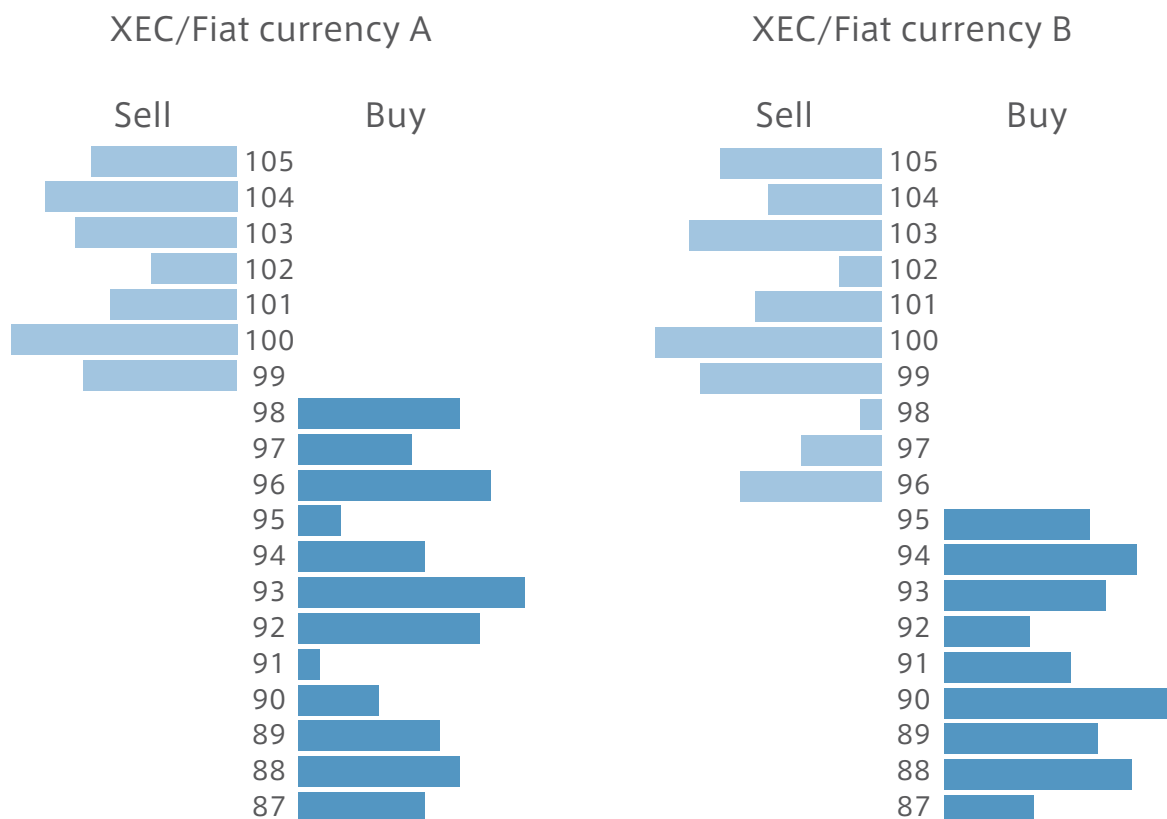




《エターナルコインの価格差》

各国の取引所のウォレットによって貸し出し手数料に差が生じるという事は、XEC の価値が国によって変わるという事です。

A 国のウォレットの貸し出し手数料が 0.5%。B 国のウォレットでは貸し出し手数料が 0.2%だとした場合、A 国のウォレットの XEC の方が価値が高い事になるので、A 国の取引にて XEC/A を購入するユーザーが XEC/B よりも多くなり、XEC/A の価格が XEC/B よりも相対的に高くなります。



《アービトラージ》

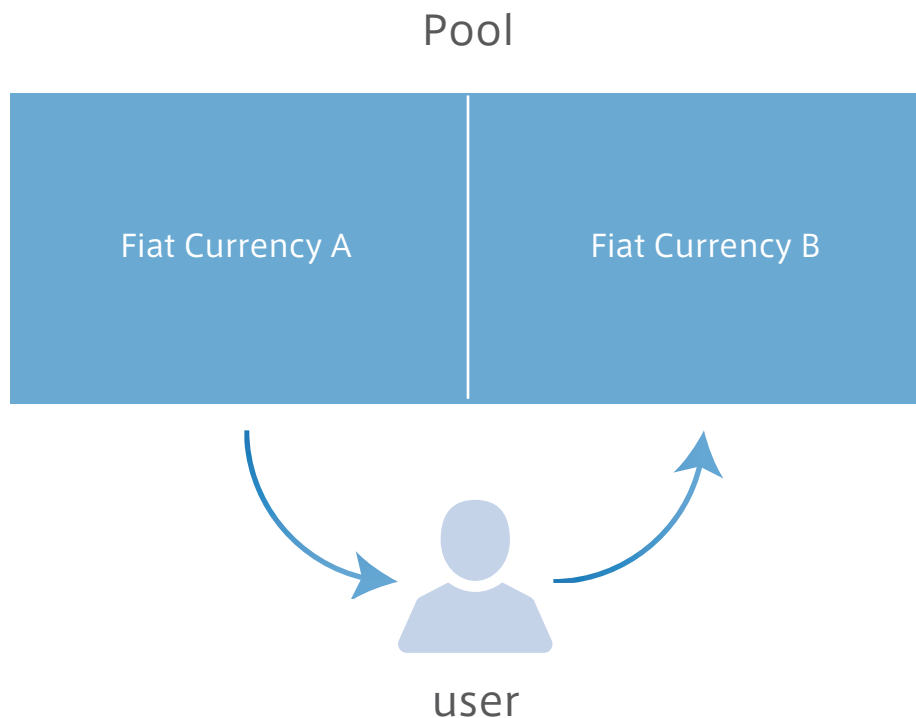
XEC の価格が通貨ペアにて違うという事は、アービトラージ取引が行えるという事になります。



《プール内残高の適正化》

そして自国のフィアット通貨に戻さないアービトラージというのは、為替リスクがあるために、アービトラージ取引を行なうという事は最終的に自国のフィアット通貨に戻す必要があります。

自国のフィアット通貨に戻すという事はエターナルウォレットの両替機能を使う必要があるために、以下の両替が行われるとプールウォレットを通過する事になります。



このように、プール内のフィアット通貨の残額によって XEC の貸し出し手数料が変動する事により、各通貨ペアにおける XEC の価格が変動し、その結果、アービトラージの機会が発生する事になり、プール内のフィアット通貨のバランスは適正な水準に戻り、各国の取引所ウォレットの XEC の貸し出し手数料も同等水準になります。

《プール内の原資》

プール内に保有するフィアット通貨はエターナルコインの発行元であるアトムソリューションズが各国の取引所に対して、XEC を貸し出すことにより補充されます。

貸し出す XEC 数はすべての国の取引所にて同じ枚数となり、各国の取引所では取引所を通じて XEC を売却してフィアット通貨へ交換を行いプールに送信する事となります。

プール内に保有するために XEC を貸し出すときはアトムソリューションズのホームページにて 30 日以上前に告知いたします。



アトムソリューションズでは貸し出した XEC がフィアット通貨になる事によって取引所によってはプール内のフィアット通貨が減少して貸し出した時よりも担保価値が減ってしまう可能性があります。一方の国の取引所のプール内のフィアット通貨残高が減少するという事は、他の国の取引所のプール内のフィアット通貨残高が増えているという事になるために、アトムソリューションズが貸し出した XEC の担保価値はプール内のフィアット通貨残高のすべての合算として計算を行いますので、担保価値の減少リスクは限定的だといえます。

また、為替リスクに対しても同様に各国の通貨がバランスよくプール内に入る事によって軽減されます。

《両替を通じた海外送金を行うユーザーのメリット》

従来の海外送金の問題点である手数料コストが大幅に安くなります。

そしてスプレッドがないために、世界一安く送金を行うことができます。

送金時間もウォレットを通じた P2P で行うために数秒で行うことができるために、為替リスクも軽減できることがユーザーのメリットです。

以上で説明した「プール」と「仮想通貨の貸出金利」という世界で初めての概念と公認取引所制度によるマルチカレンシーウォレットという特徴により、エターナルコインでは、今まで解決できなかった外貨両替と海外送金におけるコストの大幅な引き下げと瞬時の海外送金を可能にします。



エターナルコインの発行枚数と内訳について

エターナルコインの発行枚数 20億枚

内訳（2018年6月時点）

運営費 10%

プールウォレット用 20%

エターナルプロジェクト 20%

市場流通量 50%

以上となっておりますが、上記の%において1%以上の増減があった際にはホワイトペーパー及びホームページにてお知らせいたします。

エターナルコイン概要

エターナルコイン発行元：株式会社アトムソリューションズ

正式名称：XEC（エターナルコイン）

総発行数：2億 XEC

送受信速度：0.5秒～3秒（インターネットの環境により遅れる場合有）

送受信方法：エターナルウォレットを介したP2P取引

エターナルコイン入手方法：弊社公認取引所での市場取引による入手及び利用者の相対取引

エターナルコイン取引手数料：1取引に対して日本円約5円相当のXEC

トランザクションフィー分配率：全XEC取引手数料の50%をXEC保有率に応じて分配

トランザクションフィー分配日：毎週水曜日12:00（日本時間）

最少取引数：0.00001XEC

最少取引単位：1円・1フィリピンペソ・1香港ドル・1米ドル・1韓国ウォン

取引可能時間：24時間 365日

取引所：日本：Eternal Live、フィリピン：Token Hub、香港：Eternal Hong Kong、韓国：Eternal Korea

取引可能通貨ペア：XEC/JPY・XEC/PHP・XEC/HKD・XEC/USD・XEC/KRW

その他の申請中特許について

《VR》

今後、仮想通貨だけでなくVRの世界も急速に発展することは明らかです。

近い将来、VRのライブ配信が当たり前になるでしょう。家にいながら世界旅行ができたり、コンサートを見に行けたり、歌手の目線から観客席をみたり、ジェットコースターに乗れたりといったVR体験は、過去の映像ではなくライブだからこそ面白いのではないのでしょうか。

そのような時代が到来した際には、世界中にVRの配信者がYouTuberのように誕生する事でしょう。



今までは、豊かな国や地域にビジネスチャンスがありましたが、VR の配信ビジネスの世界では、アマゾンの奥地や砂漠、オーロラが見られるような極寒の地域、無人島のような気軽に旅行に行けない地域の方がビジネスチャンスになるでしょう。

そしてそのような配信ビジネスの問題は課金システムです。国境を越えたVR映像の配信者へ少額の海外送金は現実的ではないので、決済を行う際には電子マネーやポイント、仮想通貨による決済になるでしょう。

アトムソリューションズでは今年度中にVRのライブ配信アプリの完成を目指しております。

※アトムソリューションズでは、ライブVRの配信者への電子マネー送金や仮想通貨での送金の特許を申請しております。

《ポイント》

お財布の中の沢山のポイントカードがすべてスマホに入る事ができれば便利ではないかとのアイデアから、全てのポイントカードを一つにするためのアプリを現在開発しております。

アプリの特徴は発表と同時に行わせて頂きます。

※アトムソリューションズでは複数のポイントカードを一つのにしたり、事業者が自身でアプリ内にてポイントを発行する仕組みの特許を申請しております。

最後に

私たちは、これからの世界はサービスや物が単体ではなく融合する事によって新たな価値や利便性が生まれてくることになると考えています。

それは仮想通貨 + 海外送金 + 電子マネーであったり、VR+ 少額課金 + ライブ配信であったり、ポイント + IOU + 換金 + 広告といった世界です。

アトムソリューションズはフィンテック企業として仮想通貨エターナルコインやエターナルウォレットをアイデアと世界中の人たちの協力を得て日々進化していき世界中で使われるエターナルコインを目指します。